

ふれあい だより FUREAI DAYORI

2023年5月号◇ 第32号



鯉のぼりは江戸時代の中期頃に誕生したと言われています。5月5日端午の節句には、当時から男の子の誕生と健やかな成長を願い、外に飾る幟（のぼり）にも鯉が描かれていました。そこから鯉を吹き抜けにしようと考え出されたといわれています。鯉のぼりは生きる力がたくましくて強く、さらには縁起が良い鯉になぞらえて、「元気に育て欲しい」という願いが込められているとのことです。

もくじ

- ① 大船地区合同会議
- ② 横浜市栄区の地域ケアプラザ
- ③ かまくらりんどうの会
- ④ 集えるカフェがオープン
- ⑤ クロネコ見守りサービス
- ⑥ 元気アップ体操サークル
- ⑦ 地域包括支援センターを
みなさん知っていますか？

地域での
活動紹介①令和5年度大船地区合同会議
きしろ・ふれあいの泉・社協で打ち合わせ

3者が連携して行える地域活動について

4月6日（木）に地域包括支援センターきしろ・ふれあいの泉、生活支援コーディネーターの3者で令和5年度大船地区合同会議を開催しました。

今後進めていく方針をご紹介します。

①大船まつり・大船福祉まつり

今年度も薬局の方と協力して健康測定会・福祉相談のブースを作り、協力して行っていきます。

②大船図書館での包括周知提示

大船図書館内に包括周知の掲示を進めていきます。

③ケアマネサロン

市内主任ケアマネジャーの方々と協働 年2回（事例検討会、2月民児協合同研修）予定しています。

④周知を協力し合いたい事業

きしろ・ふれあいの泉で周知している企画を引き続きお互いに共有し周知し合っていきます。

⑤大船地区かかりつけ医との関り方

医療機関への挨拶回りをきしろ・ふれあいの泉協働で行っていきます。

⑥生活支援コーディネーターとの関り

地域のだんらん事業・住民主体によるサービスBの補助金を活用しながら住民主体の活動支援を進めていきます。大船地区協議体のスマホサロンを町内会館等で順次開催を進め、次への活動につながるように検討していきます。

⑦民生委員との地区別情報共有

小地域での集まりにて防災、孤立化防止を意識して地域支援に活かせるように提案を進めていきます。

⑧認知症サポーター養成講座（認サポ）

前年度開催場所を引き続き開催を目指し、ステップアップできることも意識して取り組みます。

⑨「認知症はじめてカフェ」

認知症診断をされた方に向けてストレス等への向き合い方含め勉強会の企画を検討していきます。

生活支援コーディネーターとは？

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくとを目的としています。

地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築や、地域で支え合う仕組みをつくる取り組みを行っています。

大船福祉まつり
開催風景認サポ
開催風景ケアマネサロン
開催風景